

せんちよう

広報



3号冬

2014年2月1日発行

編集・発行 千丁校区まちづくり協議会 広報委員会

八代市千丁町新牟田1434 連絡先 46-1720

ご成人のみなさま。八代に明るい未来を！



成人者、抱負を語る

成人者代表

西牟田上 吉永 紗夜火さん

20年間たくさんの人に支えられ、成人式を迎えることができるとても嬉しく思います。この町に、この場所に産んで育ててくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。大好きな千丁町で一生大事にしていきたい仲間とも出会えました。これからも、一つひとつの出会いを大切にして大人の階段を一步一步登って行きたいです。

もぐら打ち つと作り

1月12日午前10時千丁公民館に於いて、もぐら打ちに使用するツト作りを校区協議会青少年育成部会主催で行いました。



もっとおたいわ



当日は、各地区敬老会の代表の方々からアドバイスを頂きながら園児および小学生の親子など、関係者約100名でつと作りに挑戦した。

最近では貴重になった「ワラ」は農家の方に提供して載せて作った。

つくり方は、ワラを束ね根元より穂先へ紐をグルグルと巻きつけていきますが、硬くなるようにきつく巻くことがい音の秘訣とお父さん方に力が入る。

取っ手の部分は穂先を半分に分けて丸く作り、上からカラーテープを巻いて仕上げるのが最近流行とか。

どんどや

一般的に「小正月」の行事として知られている『どんどや』が町内8ヶ所で行われた。

その内の一つ、東牟田地区のどんどやは、前日に地区役十名程で川田町まで青竹の伐採に行き、竹と地区内の神社等のしめ縄3本を巻きつけて高くやぐら組み。

当日はお酒でお祝いをし、一年の無病息災や五穀豊穡を願う午前8時に火がつけられた。

どんどやの火にあたりたり残り火で餅を焼いて食べると、その一年の健康が保てるなどの云われもあり、多くの住民が集まった。



ふれあい
たすけあい
うるおいまち

第7回福祉のつどい 開催

《講演のあらまし》

11月9日、千丁文化センターで、約300人の参加者のもと、「第7回福祉のつどい」が開催されました。
1部は熊本放送アナウンサー 木村和也さんの講演、第2部は8地区代表の「演芸大会」が披露されました。

第1部 講演

「再起可能」

熊本放送アナウンサー

木村和也さん



講師
木村和也さん

「ことばは、エネルギーを、命を、持っている」

「今日は、皆さんに言葉の持つ力を伝えたい」と、自分の事故の経験から、「言葉はエネルギーを持つている、命を持つている」と強く訴えられました。
12年前、番組の取材中5メートルの高さからパラグライダーで墜落し、へそから下は麻痺するというアクシデントに見舞われた。

「歩ける可能性は1%。その1%にかけるかはあなた次第」と医師から宣告され、1%の可能性にしがみついていたと決心した。

8ヶ月の入院生活では、痛みとの闘いで精神が壊れてしまったこともあったが、両親や友人、仕事仲間、リハビリ先生等の言葉により勇気ももらい、リハビリに真剣に取り組み、復帰できた。

今も、後遺症で24時間足が痺れているが、立っていることがリハビリと受け止め、仕事も頑張っている。

「人の言葉」をプラスに、可能性に考えるのが大切であると思っている。
「人あって、自分あり」

第2部 演芸大会

演芸による親睦・交流

第2部の「演芸大会」では、8地区から演芸が披露されました。

この大会での披露のために、それぞれでしっかり練習を積み重ねていくことがうかがわれました。

合唱、ダンス、踊り、カラオケ、手品、寸劇、詩吟など様々な演芸が披露され、「じえじえ」などの時事ネタが取り入れられた寸劇には爆笑が起きたり、それぞれ演芸の熱演に大きな拍手が寄せられました。
親睦と交流を深めた、楽しい演芸大会となりました。



★★★★★

講演へのひとこと感想

★★★★★

田中順子さん
(太牟田)



涙が出ました。すごく前向きの方だと思いました。経験されたことを活かし、ますます前向きに活躍されることと思えます。



植田道男さん
(二の丸)

自分も昨年7月に病気をし、言葉がでない、計算ができないことがあった。自分のことを話してくれたように思い、元気づけられた。





高齢者交通安全教室開催

交通事故
非常事態

事故にあわない、事故を
起こさない！

高齢者の方を対象に、千丁まちづくり協議会主催で、11月26日、交通安全教室を開催しました。
参加した高齢者の方は、64人。事故に遭わない、事故を起こさない決意を新たにしました。

八代管内事故状況について

磯崎千丁駐在さんより

昨年の八代管内の死亡事故は1件のみだったが、今年8月31日現在で7件の死亡事故が発生。うち高齢者の死亡が5名。事故防止の注意点として、

- ① 高齢者は身体の変化を自覚し、安全運転
- ② いつでも止められる適切なスピード
- ③ シートベルト・ヘルメットを着用
- ④ 信号を守る。
- ⑤ 斜め横断をしない。
- ⑥ 暗くなったら外出しない。外出するときには、明るい服装や反射材を着用。



研修① 「安全運転・いきいき人生」
講師 交通指導員 賀久久美子さん



賀久さんは「今日は安全運転の特効薬を持って帰ってもらいます」という言葉で始められました。



研修② 「高齢者歩行システム」の体験

講師 熊本県交通安全協会

映像、マジック、腹話術、替え歌などいろいろな方法を用いて、安全運転についての話をされました。そして、最後に「安全運転の特効薬」とは、「交通ルールを守る優しさ」であると締めくくられました。



高齢者の方は、横断中に事故に
出会うことが多いことから、横断の仕方の体験講習が行われました。
実際に6m道路を何秒で渡れるか
十人近くの方を測定しました。
そして、渡る速さと車のスピードにより、どのようにして事故に遭うのかを実験映像で学びました。
最後に、安全に道路を渡る注意点を説明していただきました。

年末年始交通事故防止運動 啓発キャンペーン実施



12月21日～1月3日は年末年始交通事故防止運動期間でした。

この期間は、お酒を飲む機会が多く、交通事故も多発することから、毎年運動が実施されています。

千丁校区でも、この期間に合わせて、まちづくり協議会主催で、啓発キャンペーンを12月24日早朝7時より実施しました。



協議会委員、関係団体約30名の参加のもと、千丁小学校前、千丁中学校、小学校東側農免道路の3か所に分かれて冷たい風が吹く中、交通安全パネルを掲げたり、通学中の小中学生に交通誘導を行ったりしながら、交通安全キャンペーンを行いました。

* 千丁小学校 *

去る11月1日千丁小学校にて『学習発表会』が行われました。

- ▼一年生 音楽劇「くじらぐも」
- ▼二年生 音楽劇「ないた赤おに」
- ▼三年生 群読「三年とうげ」
- ▼四年生 ミュージカル「千丁少年漂流記」
- ▼五年生 音楽劇「五年生わたしたちの体験日記」
- ▼六年生 創作劇「あのころがなつかしいね」などの発表があり、一生懸命に頑張る児童の姿に会場の皆さんから大きな拍手が送られました。



▼一年生創作劇「くじらぐも」



▲四年生「千丁少年漂流記」



* 千丁中学校 *

去る11月17日千丁中学校にて文化祭が行われました。一学年は「水保病」を通しての環境問題、二学年は関西方面への修学旅行を再現しての創作劇、三学年は地域ボランティアを通しての人々とのふれあいの様子を発表しました。また、午後からはパトリア千丁に場所を移し、満席の会場でクラス対抗合唱コンクールが行われました。PTA合唱や全校生徒での課題曲合唱も行われ、素晴らしい発表となりました。



▲3学年 舞台発表の様子

▼パトリア千丁での全員合唱



イ草でしめ縄
作ったよ!



女性グループネット千丁は「イ草でしめ縄を作るう」と呼びかけ、12月15日、千丁公民館に30人の受講者が集まりました。

3人1組で、イ草でしめ縄を作りあげ（結構、力が必要でした）、そのあと、一人ひとりで、用意されたたくさん飾りから好きな物を選んで飾り付け、世界にたった一つのオリジナルのしめ縄を作りました。



▶完成した、自分だけのオリジナルイ草しめ縄でポーズ!

募集中!

来年度の広告を募集しています。あなたのお店や教室の広告を広報誌に載せてみませんか?!

お問合せは「まちづくり協議会広報委員会」まで。

千丁史跡ミニめぐり

大鞘樋門跡

千丁町古馬出(八代新地)
(国道42号線沿い)



(大鞘樋門跡うち江中樋)

見渡す限り平野の千丁は、その大部分が、近世以降の干拓により人々の手で作り出された大地ということをご存じでしょうか。

その歴史を知る上でも貴重な遺構と言えるのが、江戸時代(1819年)行われた干拓の関連施設として、鏡町と千丁町のちょうど境界付近に位置する大鞘樋門です。当初は五つの樋門がありましたが、現在は「般若樋」「二番樋」「江中樋」の三つが残っています。(樋門には海へ向かって開く扉が取り付けられ、満潮時には海水の進入を防ぎ、干潮時には内陸の水を排水する重要な役割を持っていました。)巨大な切石で組まれた門や側壁の布積みの精巧な石組みは、当時の高い技術水準を示しています。

これら樋門は、自然と闘った私たち先祖の汗の結晶です。今、私たちが暮らしているこの町の土地を広げてきた先人たちの労苦をしのぶよい機会として、皆さん一度訪れてはいかがでしょうか。

まちづくり協議会

当面の

各部会スケジュール

◆地域安全部会

4月6日～15日 春の交通安全運動

◆文化スポーツ部会

3月1日～2日 千丁校区文化活動祭

千丁校区文化活動祭

会場：パトリア千丁

展示部門 (ロビー)

3/1(土) 午後1時～午後8時

3/2(日) 午前9時～午後4時

小中学校・書道・華道・手織み
など作品展示・野点

舞台部門 (ホール)

3/2(日) 午前10時開演

人権作文・幼稚園・保育園・日舞・
カラオケ・郷土芸能・コーラス・
ダンス他 発表

募集情報

読まれる広報をめざして皆さんからの情報・記事を募集しています。

- ① 地域のイベント
- ② 地域独自の活動
- ③ 団体活動
- ④ まちづくりへの要望・意見などおまちしています。

《連絡先》
千丁校区
まちづくり協議会

広報委員会
46-11720

酒集後記

怒涛のように年末年始を過ごし年々日々の短さを感じてしまふのはやはり歳をとったせいだろうか。忙しさを盾に大事なものをないがしろにしているないだろ。うかと自問自答の毎日だが、色々な事がままならないのが世の常である。昨年の漢字は「輪」。すべてが輪になると世の中うまくいくのだろうか。一月は行く、二月は逃げる、かけ足の時間を自分なりに思いきり楽しむ事にしよう。(広報委員 岩崎布見子)